

第6回古川流域の総合的な治水対策協議会資料

(1) これまでの協議会の取組

令和4年3月23日

1 古川流域の概要

- 古川は、四ツ小屋地区のやぶれ沼に源を発し、一部は古川排水樋門を通じて雄物川へ、また、一部は猿田川へ合流する市管理の普通河川。（流域面積A = 約11.0km²、流路延長L = 約9.6km）
- 仁井田地区を中心に市街化が進み、雨水の流出量が増加し、近年、気候変動の影響もあり、浸水被害が頻発化。特に平成29年7月豪雨、平成30年5月豪雨では大きな被害が発生した。

2 H29.7月豪雨とH30.5月豪雨の降雨および被害状況

主要観測所ごとの雨量データ

※出典：国土交通省 気象庁HPより

観測所	H29.7.22~23 降水量		H29.8.24~25 降水量		H30.5.17~19 降水量	
	総雨量	24時間最大	総雨量	24時間最大	総雨量	24時間最大
秋田	127.0mm	127.0mm	102.5mm	102.5mm	208.0mm	156.5mm
仁別	179.0mm	174.5mm	154.0mm	153.0mm	223.5mm	148.0mm
雄和	348.5mm	347.0mm	122.5mm	121.5mm	213.0mm	156.5mm
大正寺	305.0mm	304.0mm	150.0mm	150.0mm	203.0mm	148.5mm
岩見三内	234.5mm	233.5mm	121.0mm	120.0mm	210.5mm	148.0mm



H29.7月豪雨

地区	被害件数		
	床上	床下	計
牛島	3	24	27
仁井田	26	86	112
御野場	0	2	2
大住	48	81	129
合計	77	193	270

H30.5月豪雨

地区	被害件数		
	床上	床下	計
牛島	1	28	29
仁井田	5	16	21
御野場	-	-	-
大住	26	90	116
合計	32	134	166

3 「古川流域の総合的な治水対策協議会」設立

国、県、市の3者が一体となり、浸水被害の軽減に向けた対策を検討するため、平成30年8月に「古川流域の総合的な治水対策協議会」を設立。

月 日	協議会等	目的	内 容
2018/ 8/17	第1回 協議会	・ 協議会の設立	・ 協議会の設立 ・ 検討項目と役割を確認
2018/10/11	合同現地調査	・ 現状把握	・ 現地状況の情報共有 ・ 現時点での緊急的な対応内容の確認
2018/11/20	第2回 協議会	・ 取組状況の共有	・ 基礎データの収集 ・ 浸水要因の想定
2019/ 3/26	第3回 協議会	・ 治水対策のあり方	・ 治水対策の目標 ・ 治水対策案の一次選定
2019/ 8/ 2	第4回 協議会	・ 複合案の検討	・ 複合案の検討
2019/12/24	第5回 協議会	・ 役割分担 ・ 整備スケジュール	・ 役割分担や整備スケジュールの案の提示 ・ ソフト対策の進捗状況を報告

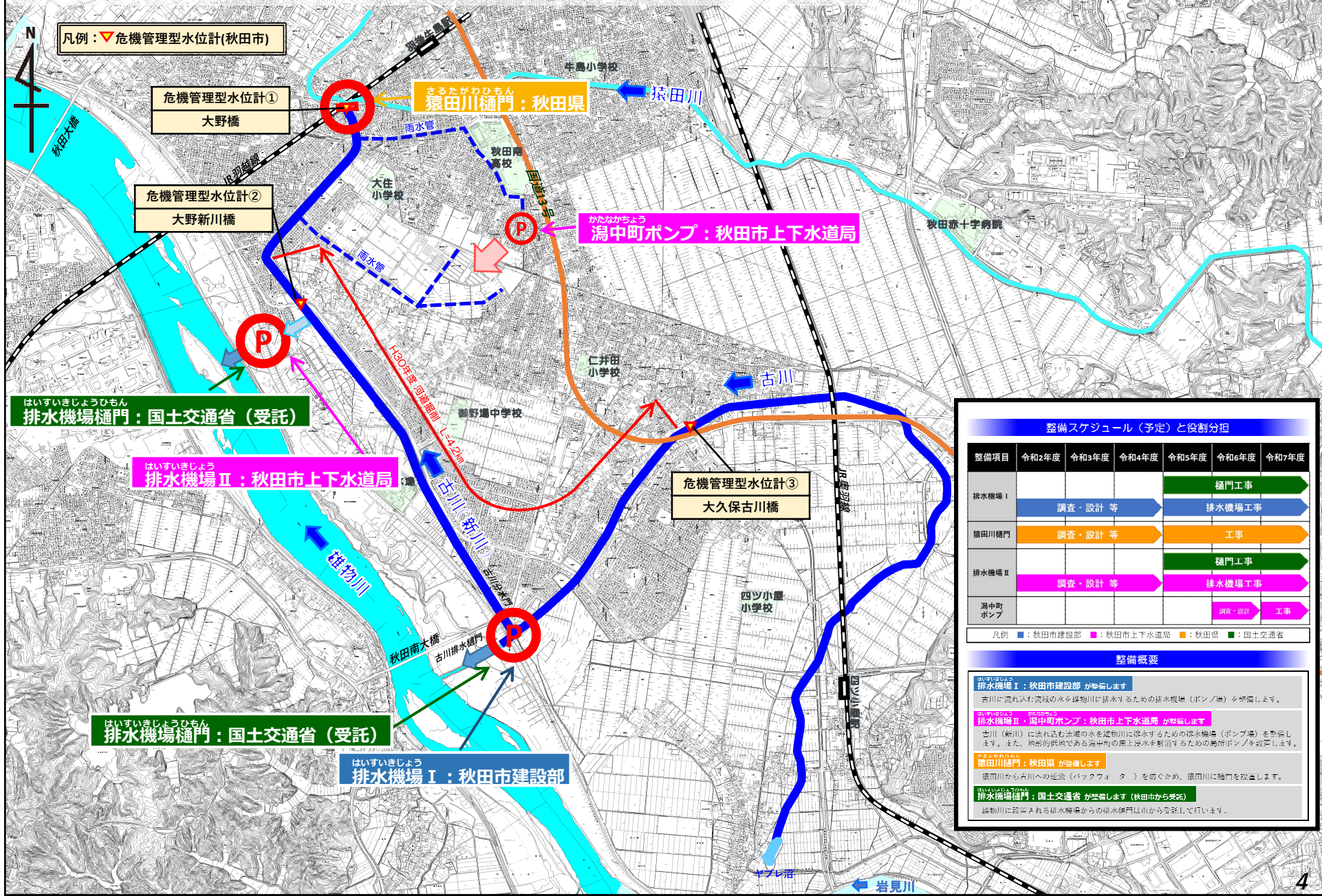
【浸水被害の要因分析】

- ①雄物川水位の影響（外水位）
- ②猿田川水位の影響（背水）
- ③雨水管の排水先の水位の影響
- ④古川の流下能力不足

【被害軽減目標】

平成29年7月豪雨と同規模の洪水に対し、
「床上浸水被害の解消」を目標とした。

古川流域の総合的な治水対策事業 ～浸水被害の軽減を目指して～



整備スケジュール（予定）と役割分担

整備項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
排水機場Ⅰ			調査・設計等		樋門工事	排水機場工事
猿田川樋門			調査・設計等			工事
排水機場Ⅱ			調査・設計等		樋門工事	排水機場工事
潟中町ポンプ					調査・設計	工事

凡例 ■：秋田市建設部 ■：秋田市上下水道局 ■：秋田県 ■：国土交通省

整備概要

排水機場Ⅰ：秋田市建設部 が整備します
古川に流れ込め流域の水を雄物川に排水するための排水機場（ポンプ場）を整備します。

排水機場Ⅱ・潟中町ポンプ：秋田市上下水道局 が整備します
古川（新川）に流れ込め流域の水を雄物川に排水するための排水機場（ポンプ場）を整備します。また、地形的に低地である潟中町の床上浸水を軽減するための扇形ポンプを設置します。

猿田川樋門：秋田県 が整備します
猿田川から古川への逆流（バックウォータ）を防ぐため、猿田川に樋門を設置します。

排水機場樋門：国土交通省 が整備します（秋田市から受託）
雄物川に設置される排水機場からの排水樋門（山手）から受託して行います。